

令和6年度シラバス（保健体育）

学番6 新潟県立新潟東高等学校

教科(科目)	保健体育(保健)	単位数	1単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。 ○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決にむけて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える健康づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
--

3 指導の重点

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
		保健編 3単元 生涯を通じる健康		
4	ライフステージと健康	ライフステージと健康の関連について説明できる。	2	・学習活動への取り組みの状況 ・単元テスト ・プリント、課題の内容 ・ノートの提出状況
	思春期と健康	・思春期における男女の性の特徴を考え、行動や心理面に起こる変化を理解する。	2	
	性意識と性行動の選択	・心身ともに大人への過渡期である思春期に起こる心の成長について、男女の意識の違いなども含め理解を深める	1	
5	妊娠・出産と健康	・受精のメカニズムを知り、妊娠から出産までの過程と、胎児と母体の変化についての理解を深める。	2	
	避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義や避妊法の特徴などを知り、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響および、人工授精・体外受精などの問題点についても理解を深める。	2	
6	結婚生活と健康	・結婚に関する制度を知るとともに、家族の健康を保つために、どのような対策が必要であるかについての理解を深める。	2	
	中高年期と健康	・加齢に伴う心身の変化について知り、高齢化が進む社会で行われている施策や生活環境の整備についての理解を深める。	2	

7	働くことと健康	・労働と健康のかかわりについて理解を深める。また、職業の選択に当たって考慮すべきことについて考えることができるようにする。	1		
	労働災害と健康	・労働災害や職業病とはどのようなものかを知り、それぞれの原因や予防のための対策についての理解を深める。	2		
	健康的な職業生活	・労働者の健康・安全をまもるために、わが国で行われている施策について知るとともに、自らがとるべき対策についても理解を深める。	2		
	保健編 4単元 健康を支える環境作り				
	9	大気汚染と健康	・大気汚染の原因を知るとともに、大気汚染によって引き起こされる健康被害について考え、大気汚染防止のための対策についての理解を深める。		2
	水質汚濁、土壌汚染と健康	・私たち生物にとっての水の重要性を知るとともに、水汚染の現状・対策についての理解を深める。 ・土壌の役割について知り、土壌汚染の現状やその対策についての理解を深めるとともに、足尾鉍毒事件などの健康被害、公害についても理解を深める。	2		
	10	環境と健康にかかわる対策	・産業廃棄物を処理する過程での不法投棄や不法な焼却などの問題点を知り、産業廃棄物による環境汚染を防ぐための施策についての理解を深める。		2
	11	ごみの処理と上下水道の整備	・わが国における上下水道の整備状況やゴミ処理方法について理解を深めるとともに、ゴミを少なくするための方策についての理解を深める。		1
	食品の安全性	・食品の安全性を確保する対策を考え自ら出来るように知識の理解を深める。	1		
	12	食品衛生にかかわる活動			1
	保健サービスとその活用	・わが国で行われている、保健行政について具体的な施策を知るとともに、活用できる知識を深める。	1		
1	医療サービスとその活用	・医療制度の仕組みや医療保険について理解を深める。	1	・学習活動への取り組みの状況 ・単元テスト ・プリント、課題の内容 ・ノートの提出状況	
	医薬品の制度と活用	・私たちの身の回りにある保健機関について、それぞれの機関がもつ役割について理解を深め、活用できるようにする。	1		
2	さまざまな保健活動や社会的対策		1		
3	健康に関する環境づくりと社会参加		1		

計 32時間 (55分授業)

5 課題・提出物等

- ・単元毎に単元テスト
- ・各単元解説プリント、課題の内容
- ・ノートの提出状況

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

7 評価方法

- ・学習活動への取り組みの状況・単元テスト・プリント、課題の内容・ノートの提出状況などから総合的に評価する。

8 担当者からの一言

授業態度や単元毎のテスト、それとノートと提出等によって評価します。特に出欠席や態度は重要になりますので、毎時間かならず欠席せずに授業を受けること。